

目次

1. 工作機械統計・産業動向	
◆米国工作機械受注統計(1月) ……………	1
◆米国工作機械受注統計(地域別) ……………	2
◆台湾工作機械輸出入統計 (2009年1～11月) ……………	2
◆インド工作機械主要統計 (2009年第4四半期) ……………	3
2. 主要国・地域経済動向	
◆米国工作機械貿易統計(1月) ……………	3
◆世界の工作機械生産額 ……………	4
◆米国：製造業設備稼働率は増加(1月) ……………	5
◆米国：製造業部門、7ヵ月連続で成長 (2月) ……………	5
◆米国：2009年の産業用レーザー受注額 45%減少 ……………	5
◆Metav が閉幕、工作機械の需要回復に期待 ……	6
◆独工作機械業界、09年生産高は30%減に ……	6
◆欧州：EU主要国製造業景気動向指数(D.I.) と資本財生産月次推移(2月) ……………	6
◆スイス機械業界、受注低迷続く見通し ……………	7
◆工作機械最大消費国の中国は工作機械 生産でも世界一位に躍進 ……………	7
3. 工作機械関連企業動向	
◆米国：MAG社が複合材加工システムを ロシアから受注 ……………	7
◆米国：Hardinge社、Romi社の買収提案を 拒否、敵対的買収に備える ……………	8
◆ブラジル：Romi社、2009年第4四半期と 通年の決算を発表 ……………	8
4. その他	
◆ユーザー関連トピックス ……………	9
5. 日工会外需状況(2月) ……………	12
6. お知らせ ……………	14

1. 工作機械統計・産業動向

◆米国工作機械受注統計(1月)

AMT(米国製造技術工業協会)及びAMTDA(米国工作機械販売協会)発表の受注統計(USMTC)によると、2010年1月の米国切削型工作機械受注は、1億2,291万ドルで前月比34.4%減、前年同月比34.5%増となった。

AMTDAのBorden専務理事は「多くの顧客が税制優遇を受けるため12月に受注し、2010年1月受注はそれにより減少した。1月の良いニュースとしては、2009年1月より依然として26%増(成形型含む)であることだ。幸いにも2010年に資本設備に投資する製造業刺激策が延長となるのが国会を通りそうである。」と述べた。

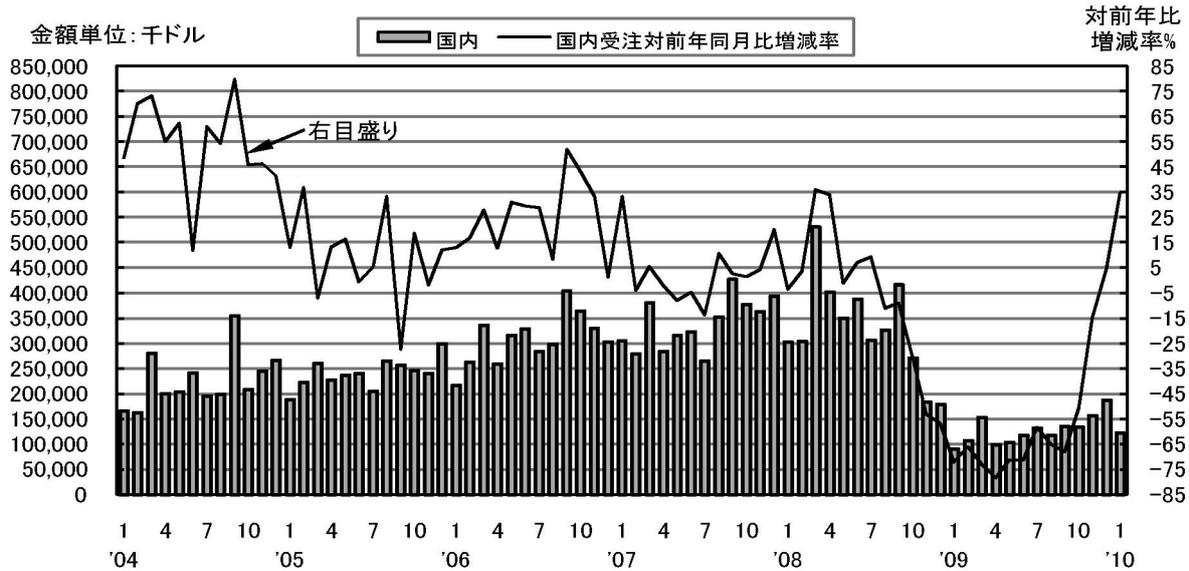
(USMTCレポート 3月8日付)

米国工作機械(切削型)受注統計

(金額単位：千ドル)

年 月	受 注	
	台 数	金 額
2009年1月	694	91,390
2月	780	107,769
3月	963	153,364
4月	855	99,162
5月	814	103,608
6月	853	117,771
7月	907	131,996
8月	806	117,583
9月	920	136,133
10月	993	134,932
11月	957	156,807
12月	1,226	187,293
2009年累計	10,768	1,537,808
2010年1月	791	122,909

工作機械受注の月次推移(米国)



◆米国工作機械受注統計(地域別)

(単位：百万ドル)

地域別		2010年1月(P)	2009年12月	前月比(%)	前年同月	前年同月比(%)	2010年累計(P)	2009年累計(R)	前年同期比(%)
全米	切削型	122.91	187.29	-34.4	91.39	34.5	122.91	91.39	34.5
	成形型	8.05	32.02	-74.9	12.38	-35.0	8.05	12.38	-35.0
	計	130.96	219.32	-40.3	103.77	26.2	130.96	103.77	26.2
北東部	切削型	24.74	39.34	-37.1	16.96	45.9	24.74	16.96	45.9
	成形型	1.15	4.15	-72.4	2.74	-58.2	1.15	2.74	-58.2
	計	25.88	43.49	-40.5	19.70	31.4	25.88	19.70	31.4
南部	切削型	26.86	23.57	14.0	11.86	126.5	26.86	11.86	126.5
	成形型	1.65	6.00	-72.5	2.70	-38.9	1.65	2.70	-38.9
	計	28.51	29.57	-3.6	14.56	95.8	28.51	14.56	95.8
中西部	切削型	35.50	50.71	-30.0	24.72	43.6	35.50	24.72	43.6
	成形型	1.91	11.51	-83.4	3.79	-49.6	1.91	3.79	-49.6
	計	37.41	62.22	-39.9	28.51	31.2	37.41	28.51	31.2
中部	切削型	24.22	48.54	-50.1	24.40	-0.7	24.22	24.40	-0.7
	成形型	2.89	6.27	-54.0	1.18	145.6	2.89	1.18	145.6
	計	27.10	54.81	-50.6	25.57	6.0	27.10	25.57	6.0
西部	切削型	11.60	25.14	-53.8	13.46	-13.8	11.60	13.46	-13.8
	成形型	0.46	4.09	-88.8	1.97	-76.8	0.46	1.97	-76.8
	計	12.06	29.22	-58.7	15.43	-21.8	12.06	15.43	-21.8

P：暫定値 R：改定値
四捨五入により合計値及び%は一致しない場合がある。
出所：USMTC

◆台湾工作機械輸出入統計(2009年1～11月)

台湾工作機械機種別輸出入統計(2009年1～11月)

(単位：千USドル)

機種名	輸出			輸入		
	2009.1-11	2008.1-11	前年比(%)	2009.1-11	2008.1-11	前年比(%)
放電加工機	69,332	145,357	-52.3	89,759	1,089,942	-91.8
マシニングセンタ	418,150	1,131,456	-63.0	23,552	50,871	-53.7
旋盤	355,549	802,891	-55.7	36,864	77,229	-52.3
ボール盤・フライス盤・中ぐり盤	181,533	344,869	-47.4	16,326	38,596	-57.7
研削盤	78,940	180,060	-56.2	51,120	88,499	-42.2
歯切り盤・歯車機械	89,217	175,140	-49.1	27,090	35,488	-23.7
切削型合計	1,192,721	2,779,773	-57.1	244,711	1,380,625	-82.3

出所：海関進出口統計月報

台湾工作機械国別輸出入統計(2009年1～11月)

(単位：千USドル)

輸 出					輸 入				
順位	国 別	2009.1-11	2008.1-11	前年比(%)	順位	国 別	2009.1-11	2008.1-11	前年比(%)
1	中国・香港	581,188	1,041,548	-44.2	1	日 本	146,639	897,762	-83.7
2	米 国	116,669	314,447	-62.9	2	ド イ ツ	43,139	87,645	-50.8
3	ド イ ツ	71,094	206,806	-65.6	3	中国・香港	21,614	37,900	-43.0
4	タ イ	61,004	105,386	-42.1	4	イ タ リ ア	19,854	14,164	40.2
5	ブラジル	57,762	143,307	-59.7	5	ス イ ス	17,773	29,601	-40.0
6	ベトナム	49,184	78,596	-37.4	6	米 国	17,306	295,895	-94.2
7	イ ン ド	48,185	105,532	-54.3	7	韓 国	14,959	30,559	-51.0
	そ の 他	583,475	1,494,627	-61.0		そ の 他	24,301	80,173	-69.7
	合 計	1,568,561	3,490,249	-55.1		合 計	305,585	1,473,699	-79.3

出所：海関進出口統計月報

◆インド工作機械主要統計(2009年第4四半期)

(単位：千USドル)

	生 産			輸 出			輸 入		
	台数	金 額	前年比	台数	金 額	前年比	台 数	金 額	前年比
金属切削型合計	1,546	83,314.234	65	32	3,639.067	-7.68	3,895	164,617.021	-33.34
うち N C	970	59,448.957	72	17	2,694.064	-16.55		上に含まれる	
放電加工機	127	2,496.638	45	6	167.213	107.91	56	1,787.234	-40.38
マシニングセンタ									
立 形	276	14,409.149	42	4	212.596	-49.766	235	11,106.383	-48.15
横 形	13	2,360.340	-33	0	0.000	0	45	8,319.149	-83.78
そ の 他	0	0.000		0	0.000	0	5	1,106.383	-67.09
特殊加工機	56	6,155.234	5	0	0.000	0		上に含まれる	
旋 盤	633	20,332.574	46	10	293.830	-66.375	646	26,382.979	-33.41
うち N C	568	17,913.851	43	10	293.830	-65.961	220	19,255.319	-44.72
ボール盤	196	2,112.319	-47	4	8.511	-98.258	252	1,872.340	-75.43
うち N C	0	0.000		0	0.000	0	6	702.128	-85.66
中ぐり盤	11	3,070.851	-13	0	0.000	0	207	31,063.830	124.71
うち N C	0	0.000		0	0.000	0		上に含まれる	
フライス盤	59	1,205.596	-26	1	25.851	-28.361	759	15,489.362	-31.53
うち N C	0	0.000		0	0.000	0	71	9,553.191	-51.88
研 削 盤	130	14,823.234	178	1	44.681	-54.248	501	20,723.404	-44.30
うち N C	45	8,233.830	143	0	0.000	0		上に含まれる	
歯 切 り 盤	14	1,625.106	205	0	0.000	0	227	16,489.362	-17.69
うち N C	0	0.000		0	0.000	0			
そ の 他	31	14,723.189	1446	6	2,886.387	1177.4	962	30,276.596	12.25
うち N C	0	0.000		0	0.000	0		上に含まれる	

出所：IMTMA
*データは全て原文通り

◆米国工作機械貿易統計(1月)

- 2010年1月の米国工作機械輸出額(切削型)は、前月比24.5%減、前年同月比4.2%減の82.6百万ドルであった。
- 2010年1月の米国工作機械輸入額(切削型)は、前月比27.6%減、前年同月比44.8%減で121.5百万ドルであった。

		2010年 1 月	2009年 12 月	1月/12月 増減率 (%)	2010年 1 月	2009年 1 月	前年比 増減率 (%)
切削型	輸 出	82.6	109.3	(24.5)	82.6	86.2	(4.2)
	輸 入	121.5	167.8	(27.6)	121.5	220.1	(44.8)
	収 支	(38.9)	(58.5)	(33.5)	(38.9)	(133.9)	(71.0)
成形型	輸 出	43.4	58.3	(25.6)	43.4	45.6	(4.9)
	輸 入	39.7	45.4	(12.4)	39.7	86.1	(53.8)
	収 支	3.6	12.9	(71.9)	3.6	(40.5)	(108.9)
合 計	輸 出	126.0	167.6	(24.9)	126.0	131.8	(4.4)
	輸 入	161.2	213.2	(24.4)	161.2	306.2	(47.3)
	収 支	(35.3)	(45.6)	(22.7)	(35.3)	(174.4)	(79.8)
N C 機	輸 出	51.1	57.0	(10.3)	51.1	54.0	(5.5)
	輸 入	97.1	132.2	(26.5)	97.1	195.3	(50.3)
	収 支	(46.0)	(75.2)	(38.8)	(46.0)	(141.2)	(67.4)

(AMT Report 2010年3月11日付)

(注) ()はマイナスを表す。四捨五入により、合計値と一致しない場合がある。
出所：AMT - The Association for Manufacturing Technology

2. 主要国・地域経済動向

◆世界の工作機械生産額

国名	2009年(推定値)			2008年(修正値)		
	金額(百万ドル)	切削(%)	成形(%)	金額(百万ドル)	切削(%)	成形(%)
1 中国	15,000.0	73	27	13,960.0	72	28
2 ドイツ	10,428.8	75	25	15,680.2	77	23
3 日本	7,095.1	83	17	15,566.5	87	13
4 イタリア	5,239.4	49	51	7,831.3	50	50
5 韓国	2,665.0	64	36	4,372.0	64	36
6 台湾	2,419.4	80	20	4,807.1	80	20
7 米国	2,324.4	73	27	3,938.5	80	20
8 スイス	2,118.4	81	19	4,013.4	86	14
9 ブラジル	u1,288.7	81	19	1,288.7	81	19
10 スペイン	1,060.3	66	34	1,544.8	67	33
11 オーストリア	857.3	50	50	1,227.3	50	50
12 フランス	764.8	73	27	1,276.0	67	33
13 チェコ	589.5	87	13	963.6	87	13
14 英国	499.1	75	25	760.3	77	23
15 カナダ	c434.0	62	38	c645.9	55	45
16 ベルギー	369.9	10	90	499.0	10	90
17 オランダ	340.7	20	80	512.1	20	80
18 トルク	327.0	29	71	442.0	26	74
19 イタリア	268.2	80	20	403.6	86	14
20 ロシア	230.1	59	41	420.5	59	41
21 フィンランド	180.8	10	90	300.0	10	90
22 スウェーデン	147.4	35	65	248.8	35	65
23 オーストラリア	135.0	81	19	133.0	85	15
24 メキシコ	c132.5	52	48	c164.6	51	49
25 デンマーク	112.6	40	60	168.3	40	60
26 ポルトガル	80.7	5	95	81.9	5	95
27 ルーマニア	u52.0	71	29	54.8	71	29
28 アルゼンチン	29.3	44	56	36.2	47	53
合計	55,190.3			81,340.9		
うちアジア	27,447.7			39,109.2		
西ヨーロッパ	23,116.6			35,549.0		
アメリカ大陸	4,208.9			6,074.4		

u = 前年未修正、現行レートに変換 c = 概算、断片的データから推測
出所：Gardner Publications, Ltd.

世界の工作機械国別輸出額

国名	2009 (百万ドル)	2008 (百万ドル)	前年比 (%)
1 ドイツ	7,202.8	10,261.8	-30
2 日本	4,219.0	8,516.8	-50
3 イタリア	3,316.4	4,691.2	-29
4 台湾	1,935.5	3,700.6	-48
5 スイス	1,823.7	3,333.9	-45
6 中国	1,400.0	2,106.0	-34
7 米国	1,214.5	1,892.8	-36
8 韓国	1,212.0	1,910.0	-37
9 スペイン	799.8	1,077.0	-26
10 オーストリア	681.9	1,025.2	-33
11 ベルギー	627.1	1,100.4	-43
12 英国	569.3	931.0	-39
13 フランス	556.2	822.3	-32
14 チェコ	516.0	859.7	-40
15 トルク	269.0	350.0	-23
16 カナダ	246.8	379.9	-35
17 オランダ	243.3	425.8	-43
18 ブラジル	u196.2	196.2	0
19 スウェーデン	144.6	242.9	-40
20 フィンランド	139.1	231.2	-40
21 オーストラリア	100.0	93.0	8
22 ロシア	79.6	145.6	-45
23 デンマーク	76.5	155.1	-51
24 ルーマニア	u73.0	76.8	-5
25 ポルトガル	59.8	48.3	24
26 メキシコ	33.1	41.2	-20
27 アルゼンチン	19.5	14.6	34
28 インド	12.3	22.2	-45

出所：Gardner Publication
c = 概算値 u = 前年値未改定、ただし通貨レートで変換

世界の工作機械国別輸入額

国名	2009 (百万ドル)	2008 (百万ドル)	前年比 (%)
1 中国	5,800.0	7,587.0	-24
2 米国	2,259.6	4,874.0	-54
3 ドイツ	2,224.8	4,337.1	-49
4 ブラジル	u1,454.7	1,454.7	0
5 韓国	1,133.0	1,334.0	-15
6 フランス	924.7	1,417.9	-35
7 メキシコ	c906.3	1,422.9	-36
8 インド	900.7	1,573.2	-43
9 イタリア	817.6	2,151.0	-62
10 ベルギー	721.7	1,132.6	-36
11 スイス	571.0	887.3	-36
12 ロシア	541.5	989.5	-45
13 カナダ	532.9	890.1	-40
14 英国	467.9	953.2	-51
15 オーストリア	447.1	702.2	-36
16 日本	442.8	743.2	-40
17 トルク	392.0	706.0	-44
18 台湾	362.9	1,531.3	-76
19 ルーマニア	u362.6	381.6	-5
20 スウェーデン	308.7	519.5	-41
21 スペイン	299.1	692.6	-57
22 チェコ	264.6	777.6	-66
23 オランダ	250.3	439.0	-43
24 オーストラリア	199.0	360.0	-45
25 アルゼンチン	139.8	250.7	-44
26 ポルトガル	119.6	139.0	-14
27 フィンランド	111.2	317.5	-65
28 デンマーク	100.1	330.7	-70

出所：Gardner Publication
c = 概算値 u = 前年値未改定、ただし通貨レートで変換

◆米国：製造業設備稼働率は増加(1月)

2010年1月の設備稼働率（速報値）は、全製造業で69.2%、耐久財製造業で62.9%、機械製造業で59.7%となった。

前月比で見ると、全製造業では0.8ポイント、耐久財製造業では1.0ポイント、機械製造業では0.1ポイント夫々増加している。一方、前年同月比で見ると全製造業では2.1ポイント増加している。

米国製造業の設備稼働率月次推移



(FRB Statistical Release G.17(419)/2月17日付)

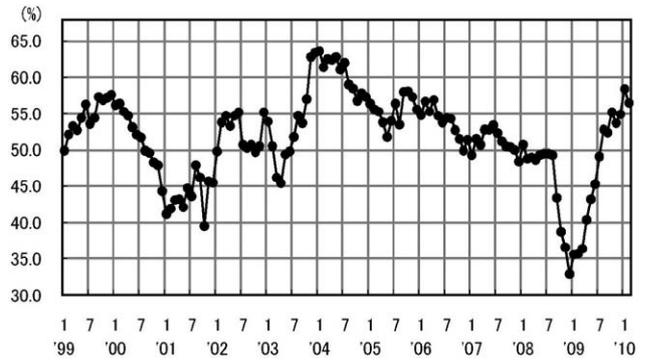
◆米国：製造業部門、7ヵ月連続で成長(2月)

米サプライ・マネジメント協会（ISM）の購買管理指数（PMI：製造業350社以上のアンケート調査に基づく月次景況指数）によると、2010年2月のISM指数（PMI）は56.5%と景況感の分かれ目である50%を上回り、製造業部門の活動も7ヵ月連続で成長した。一方、経済全体の動向はPMIが上昇・下降の分岐点41.2%を10ヵ月連続で上回り、経済成長を遂げた。

2月の調査結果について、ISMは次のようにコメントしている。「製造業部門は2月に7ヵ月連続で成長した。新規受注と生産は1月ほど力強くないが、依然として堅調である。雇用指数も3ヵ月連続で上昇し、勇気づけられるものとなっている」

なお、2月の製造業の景況感について、対象18業種中、次の11業種が「企業活動を拡大した」と回答している。機械類、紙製品、アパレル・皮革製品、コンピューター・電子製品、雑貨、輸送用機械、

ISM 指数の推移



繊維製品、プラスチック・ゴム製品、電気機器・家電製品・部品、金属製品、食品・飲料・たばこ製品。

ISMが発表した2月の主要個別指数の前月比変動傾向は以下の通り。

項目	2010年2月指数	2010年1月指数	備考
ISM 指数 (PMI)	56.5	58.4	1月比1.9ポイント低下。製造業は7ヵ月連続成長。2月のPMI (56.5%) は年率換算実質GDP成長率4.9%に相当。
生産	58.4	66.2	1月比7.8ポイント低下。拡大の基準である50.4%を9ヵ月連続で上回った。9業種が成長を報告した。
新規受注	59.5	65.9	1月比6.4ポイント低下。8ヵ月連続で増加した。10業種が成長を報告した。
受注残高 (季節調整なし)	61.0	56.0	前月比5ポイント上昇。13業種が増加を報告した。
サプライヤー納期	61.1	60.1	1月比1ポイント上昇。9業種が長期化を報告した。
在庫	47.3	46.5	前月比0.8ポイント上昇。5業種が在庫増を報告した。
雇用	56.1	53.3	1月比2.8ポイント上昇。10業種が増加を報告した。
仕入れ価格	67.0	70.0	前月比3ポイント低下。14業種が上昇を報告した。
輸出受注	56.5	58.5	前月比2ポイント低下。8ヵ月連続の増加。9業種が増加を報告。
原材料輸入	56.0	56.5	前月比0.5ポイント低下。6ヵ月連続の増加。10業種が増加を報告した。

(ISM Manufacturing Report on Business 2010年3月1日付)

◆米国：2009年の産業用レーザー受注額45%減少

米国製造技術工業協会（AMT）によると、2009年における産業用レーザー加工機とシステムの受注

額は前年比45.3%減の2億5,990万ドルであった。

レーザ加工機メーカーおよびサプライヤー 19社による報告では、CO₂レーザの受注額は47.6%減の2億2,930万ドルで、Nd:YAGレーザの受注額は17.9%減3,030万ドルであった。

CO₂レーザの販売台数も受注額に比例して47%減少した。Nd:YAGレーザの販売台数は受注額よりも落ち込みが激しかった。

受注総台数1,462台のうち、61.7%が光源とワークステーションから構成されるレーザシステムとなっている。レーザシステムは受注総額の88.4%を占めている。

(AMT プレスリリース 2010年2月24日付)

◆Metavが閉幕、工作機械の需要回復に期待

独デュッセルドルフで2月23日から開催されていた「国際金属加工機械・技術見本市 (METAV 2010)」が27日、閉幕した。欧州メーカーを中心に世界28カ国から約700社が参加した。

今回の来場者数は世界的な不況の影響を受け、4万5,000人となり、前回 (2008年) の5万2,000人から13%減少した。

主催者団体のドイツ工作機械工業会 (VDW) が実施したアンケート調査の結果によると、来場した企業の8割が「今後12カ月以内に新規設備への投資を望んでいる」と回答した。ただ、同見本市での商談成立は5%程度にとどまった。景気回復への確かな兆しが見えない中、出展企業は設備投資需要の回復に期待を寄せている。同見本市で計160台の受注を確保 (成約額2,930万ユーロ) した独工作機械大手ギルデマイスターのカピツァ最高経営責任者は、今回のMetavについて、「工作機械への需要回復を確認することができた」とコメントした。

(MaschinenMarkt 2010年3月1日付)

◆独工作機械業界、09年生産高は30%減に

ドイツ工作機械工業会 (VDW) が17日発表

した加盟企業の2009年生産高は前年から30%減少し、99億ユーロに落ち込んだ。世界的な経済危機の直撃を受けた格好で、受注高は55%減の62億ユーロと激減している。減少幅は国内が61%で、中国などアジアの需要増があった国外も50%と大きかった。設備稼働率は67.6%と通常時の平均88%を20ポイント以上下回っている。

ただ、09年第4四半期の受注高は前年同期比で12%増加。同年7、8月の最低水準からは60%も拡大するなど、回復の兆しも出てきた。

VDWのマーティン・カップ専務理事は、今年上半期も回復基調が続くとしながらも、受注増が生産拡大につながるには6~8か月かかるため、生産高が増加に転じるのは下半期になると指摘。2010年も通期生産高が前年比10%減となり、引き続きマイナス成長になるとの見通しを示した。生産高の減少幅を10%に抑えるには、受注を40%増やす必要があるという。

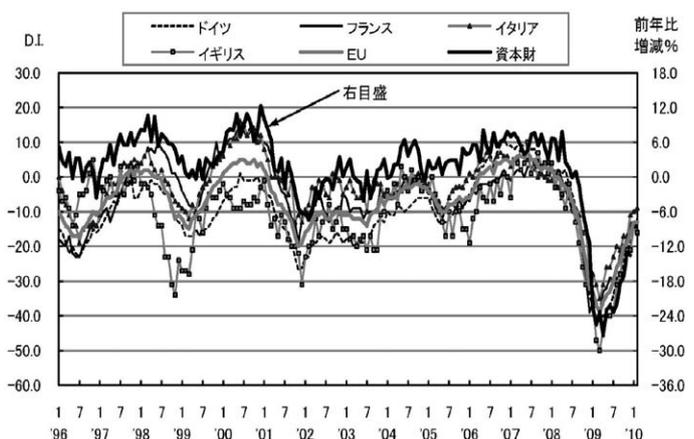
加盟企業の09年末の従業員数は計6万6,000人で、減少幅は8.2%にとどまった。同業界で操短の動きが広がったのは昨年半ば以降で他の業界より遅く、操短は今後もしばらく続く見通しという。

(Press Release 2010年2月17日付)

◆欧州：EU主要国製造業景気動向指数(D.I.)と資本財生産月次推移(2月)

欧州委員会の発表した2010年2月のEU主要国製造業景気動向指数 (D.I.) によると、EU全体では

EU主要国製造業景気動向指数(D.I.)と資本財生産月次推移



横ばいで推移している。国別では、ドイツが3ポイント、イタリアが1ポイント夫々上昇したものの、フランスとイギリスは2ポイント後退している。

一方、ユーロ圏の資本財生産については、2009年12月は前年同月比で13.5%減となった。なお、2010年1及び2月の数字は未発表である。

(欧州委員会 Monthly Survey of Manufacturing Industry 及び Industrial Production 調査)

◆スイス機械業界、受注低迷続く見通し

スイス機械・電子・金属工業会 (Swissmem) がこのほど発表した2009年10～12月期の業界受注高は前年同期比で25%減少した。内外需ともに後退し、それぞれ、17.7%と27%減少した。売上高は国内向けで13.7%、国外向けで19.7%減少した。全体では20.3%の後退となり、四半期比較で2004年並みの低水準を記録した。

10～12月期の輸出額は前年同期と比べ13.1%減少した。主な輸出先では、アジア向けが中国経済の好調に支えられ1.8%の下落幅にとどまったものの、欧州向けでは15.1%減少した。製品分野別では、機械が前年同期比で25.9%の減少となったほか、電気電子機器 (16.2%減)、精密機器 (7.2%減) と軒並み減少した。

Swissmemは今後の動向について、「先行きは不透明だ」としたうえで、受注低迷がさらに続くとの見通しを示した。

(MaschinenMarkt 2010年2月25日付)

◆工作機械最大消費国の中国は工作機械生産でも世界一位に躍進

Gardner社調べによれば、7年前に工作機械消費 (国内生産+輸入-輸出) で中国は前年の4位から1位に躍進し、以後トップの座を維持している。昨年は世界的な製造業不況でドイツ、米国、日本など主要ユーザーが軒並み工作機械購入を手控えるなか、中国は不況を免れて前年並みの購入実績を維持している。2009年に中国の工場が設置した工

作機械は194億ドルで、中国に次ぐ工作機械購入上位6ヶ国の合計購入額を上回っている。中国以外の主要国の工作機械購入額は前年実績比でほぼ半減し、日本57%減、米国51%減、ドイツ44%減、また、2008年に購入額第7位だった台湾は、去年は68%減で上位10ヶ国の圏外に去った。

工作機械生産国28ヶ国の2009年生産額は合計552億ドルで前年の813億ドルを32%下回った。中国工作機械工場 (外資系を含む) の2009年生産額は推定150億ドルで、前年実績比7%増となったが、他の主要生産国は2桁の大幅減で、特に日本の工作機械生産は2008年比57%減となり、27年余維持していた生産国トップの座から中国、ドイツに次ぐ第3位に後退した。また、アジア5ヶ国 (日本、中国、台湾、韓国、インド) の2009年工作機械生産額は合計274億ドルで、同年の28ヶ国合計生産額の半分近くを占めた。なお、28ヶ国の生産額は世界工作機械生産額の94%を占めると推定されている。

(METALWORKING Insiders' Report 2010年2月23日付)

3. 工作機械関連企業動向

◆米国：MAG社が複合材加工システムをロシアから受注

米MAG Industrial Automation Systems社は、複合材料自動加工システム3台をロシアのUnited Aircraft Corp. (UAC) 社に供給する新たな契約を結んだ。

UAC社は軍用、民間、輸送、無人の航空機設計・製造の国有コングロマリットで、ロシアの航空宇宙部門からは同システムの初の発注である。

供給されるシステムは、MAG VIPERファイバー配置装置1台、HyperMach立型プロファイラー2台である。UAC社のMS-21シリーズの旅客機、中距離機の生産をサポートする。

3台の納期は2011年第1四半期に予定されている。

MAG社はそれらの受注額が90億ドルを超過することを示唆している。

MAG社は今回の受注で同社のロシアにおけるプレゼンスが高まると述べている。同社はすでにこれまで工作機械26台をUral Manufacturing社とVSMPO-Avisma社に納めている。これらの2社はBoeing社およびAirbus社の旅客機向けにチタン部品をロシアで生産している。

(American Machinist 電子版 2010年3月3日付)

◆米国：Hardinge社、Romi社の買収提案を拒否、敵対的買収に備える

米工作機械メーカーHardinge Inc.社の取締役会は、ブラジルの大手工作機械メーカーIndustrias Romi S.A.社の9,200万ドル買収提案を「極めて不十分な金額で、不況による株価低迷に乗じたものであり、当社と当社株主にとって得策ではない」として拒絶した。同時にHardinge社取締役会は、有効期間1年の新規乗っ取り防止条項「株主権プラン」を採択している。Romi社の買収提案は2月初旬に公表されたが、予備提案は2009年9月に行ったとRomi社側は述べている。

Romi社のCEO、L. Agular dos Santos氏宛の書簡で、Hardinge社のKyle Seymour会長とRichard・L・Simons社長兼CEOは「世界的不況と金融危機で当社の業績と株価が低迷しているのは事実だが、景気回復を目前に控えている今、特に貴社提示の不適切な価格で当社買収に応じるつもりはない」と述べている。他方、Agular dos Santos CEOは「Hardinge社取締役会の交渉拒否は当社提案に積極的な同社株主の意向に反するもので、また、当社提案の買収価格は妥当であり、状況によっては、RomiグループはHardinge社株主に直接働きかける」と語っている。

「株主権プラン」による株主の権利（シリーズB優先株と普通株に対する新株引受権が中心）は2010年3月1日現在のHardinge社株主全員に非課税配当の形で分配され、有効期間は1年、法人または

個人の第3者がHardinge社発行済み普通株の20%以上を取得したとき、株主はこの権利を行使できる。Hardinge社取締役会との協議を経ない買収者による同社株式20%以上の取得を阻止するのが新「株主権プラン」の目的である。

(American Machinist 電子版 2010年2月24日付)

◆ブラジル：Romi社、2009年第4四半期と通年の決算を発表

工業部門の景況感の改善、在庫整理の一巡、社会開発銀行（BNDES）の資本財取得に対する年利4.5%の低利融資枠の拡大を受けて、Industrias Romi S.A.社の業績は2009年下期、特に第4四半期から改善に向かっている。

同社2009年第4四半期の新規受注は前年同期比364.9%増の2億4,671万リアル、2009年通年では前年比17.9%減の5億9,282万リアルだった。営業収入の約68%を占める工作機械事業部門の新規受注は第4四半期が前年同期比286.9%増の1億5,806万リアル、2009年通年が前年比20.4%減の3億8,143万リアルだった。また、2009年末の受注残高は前年比40.6%増の1億9,887万リアル、工作機械は前年比29.7%増の1億2,182万リアルだった。

連結ベースの純営業収入は2009年第4四半期が前年同期比4.5%増の1億7,358万リアル、工作機械部門は同15.0%増の1億1,801万リアルだった。2009年1～9月期の純営業収入は前年同期比31.7%減の4億7,543万リアル、工作機械は同29.4%減の3億1,067万リアルだった。汎用旋盤、CNC旋盤、マシニングセンタ、立形・横形強力旋盤の販売台数は第4四半期が前年同期比12.7%増の524台、2009年通年が前年比37.6%減の1,454台だった。

Romi社の2009年第4四半期の純利益は前年同期比4.2%減の1,710万リアル、2009年通年では前年比89.9%減の1,280万リアルだった。

(Romi社プレスリリース 2010年2月9日付)

4. その他

◆ユーザー関連トピックス

ロシア、自動車部品輸入の法改正で三菱自に影響か

ロシア政府が自動車メーカーの部品輸入を厳格化するため、ベラルーシ、カザフスタンとの関税同盟発足を機に取り組んでいる関税法の改正について、経済紙『ベドモスチ』は2月9日、従来の優遇関税が適用される自動車メーカーのリストを当局がまとめたと報じた。リストには国内自動車各社のほか、サンクトペテルブルクでそれぞれ生産を行うトヨタ、日産も含まれたが、モスクワ南西のカルーガで3月にも生産を開始する三菱自動車と仏PSAプジョーは漏れ、部品輸入で不利となる恐れがある。

ロシアはこれまで、完成車の輸入関税を30%以上に設定する一方、部品に対する関税率を0~5%に抑え、外国メーカーの国内進出を後押ししてきた。だが、外国メーカーの進出が一段落したとみられることや、国内部品産業を育成させたい思惑などから、部品輸入に際して従来の優遇関税適用には◇溶接、塗装まで行なう完成車の国内生産が年2万5,000台以上◇部品の国内調達率を今後3年間で30%以上——とすることを条件づけた。また優遇関税が適用される部品は、自動車本体価格の70%以下に限定。7月1日から実施するとしている。

三菱自とPSAは共同で、カルーガの新工場で年16万台生産する予定。三菱自のロシア販売を担当する自動車ディーラー大手ロルフは『ベドモスチ』紙に対し、「三菱自、PSAの計画は産業貿易省も合意している。リストから漏れたのは、何かの間違い」として、当局に問い合わせる姿勢を示している。(Vedomosti 2010年2月9日付)

スロベニアのルノー工場、ダイムラーの次世代スマートを製造

独自動車大手ダイムラーはスロベニアのノヴォ・メストにある仏ルノー工場、超小型車「ス

マート」の次世代モデルを製造するもようだ。独自動車専門誌『auto motor und sport』が10日報じたところによると、ダイムラーのディーター・ツェツェ社長とルノーのカルロス・ゴーン社長はこのほど、技術提携で大筋合意したという。ツェツェ社長は1月の米デトロイトモーターショーで、「スマート」の4ドアモデルの提携先を遅くとも2010年6月末までには決める意向を示していた。

今回の合意によると、ダイムラーの「スマート」とルノーの小型車「トゥインゴ」の新モデルは、共通のプラットフォームで製造される。これまで「クリオ」と「トゥインゴ」を製造していたノヴォ・メスト工場で、「トゥインゴ」と「スマート」の4ドアモデルを製造。一方、フランスにあるダイムラーのハンバッハ工場で「スマート」の従来モデル(2ドア)と「トゥインゴ」の新モデルを製造するという。

ツェツェ社長は、今回の合意内容を精査したうえ、5月にもルノーとの提携を正式に発表する予定だ。

(auto motor und sport 2010年2月10日付)

仏アルミ部品メーカー、クロアチアで生産ラインを増設

自動車アルミ部品メーカーの仏サン・ジャン・インダストリーズ(SJI)はクロアチア工場で生産ラインを2本増設する。新ラインでは仏自動車大手ルノー向けのターボコンプレッサーを製造する予定だ。投資規模は1,100万クナとなる見通し。独経済紙『NfA』がこのほど報じた。

ボスニア・ヘルツェゴビナとの国境に近いスラボンスキ・ブロードにあるクロアチア工場は、主に仏自動車メーカーPSAプジョー・シトロエン向けの部品を製造している。同工場の幹部によると、現在は設備の7割が稼働しており、うち4割がPSA向けという。ほかにも仏原子力大手アレバや索道メーカーの仏ポマガルスキに製品を納入している。新たにルノー向けのターボコンプレッサーを製造

するため、今回の生産ライン増設で生産能力を20%引き上げる。従業員は現在、138人。3、4月にさらに計20人採用する予定だ。

同工場の2009年の売上高は5,800万クナで、08年の7,300万クナから約20%減少した。自動車メーカーからの受注減とアルミ価格の下落が響いたという。

(nfa-Nachrichten fuer Aussenhandel 2010年2月11日付)

チェコのエンジニアリング業界、業績に明暗

チェコのエンジニアリング業界は昨年、不況の影響で多くの企業が減収減益となったが、一部で好調な業績をあげた企業もあった。

各種プラント向け設備を手がけるKralovopolskaは売上高が20%増の8億コルナ、純利益が6倍の6,000万コルナに急伸。水車などを手がけるブランスコ・ホールディングは09年の売上高が前年比30%増の6億3,000万コルナ、営業利益が44%増の6,500万コルナに拡大した。また、タービンシステムのシュコダ・パワーは、売上高が過去最高の64億コルナ、粗利益も30%増の10億コルナと好調だった。

一方、業績が振るわなかったのは、シーメンズ(30%減収の300億コルナ)、トラックメーカーのタトラ(45%減収の35億コルナ)、ヴィトコピツェ・マシナリー(36%減収の14億4,300万コルナ)、調理機器メーカーのモラ・モラビア(18%減収の11億4,000万コルナ)、自動車部品のロバート・ボッシュ(2億7,670万コルナの黒字から200万コルナの赤字に転落)、ミシンメーカーのミネルバ・ボスコピツェ(赤字幅が7,600万コルナから1億2,500万コルナに拡大)など。

CTK通信によると、09年のチェコの工作機械・金属成形機械の生産額は前年比35%減の106億5,000万コルナ、輸出額は同40%減の99億コルナに落ち込んだもようだ。

(Prague Daily Monitor 2010年2月14日付)

ロシア2大自動車連合が部品調達で協力検討

ルノー・日産と提携するロシアの自動車最大手アフトワズと、先ごろ伊フィアットと合弁会社設立を発表したソレルスが、自動車部品調達で協力することを検討している。経済紙『RBC』などが2月19日付で伝えた。この2大自動車連合がロシア国内で計画する自動車生産規模は2015年で計160万台以上。だが、部品調達のめどは立っていないのが実情だ。両連合は外国自動車部品メーカーのロシア誘致や国内メーカーの品質向上などを推進し、高品質の部品を確保する狙いがある。

アフトワズはこれまで、約1,000社に及ぶ国内部品メーカーから供給を受けてきたが、このうち欧州水準の製品を生産できるのは2割程度とされる。同社が業績回復の起爆剤として期待し、2012年から生産が開始するルノー・日産との提携モデルには「外国企業との合弁部品メーカーからしか部品を調達しない」と明らかにしており、外国部品メーカー35社と国内企業の合弁を進行させているという。

一方、ソレルスは今月、フィアットと合弁会社を設立し、フィアットやクライスラーのモデルを2017年に年50万台生産すると発表したばかり。部品についてはソレルスの工場があるナベレジュヌィエ・チェルヌィに部品メーカー用の工業団地を整備し、現地調達比率を最大50%まで引き上げる計画だが、具体的な供給元は決まっていない。このため両連合は、ソレルスが提供する団地にアフトワズが協議を進める部品メーカーを誘致し、共同で部品を調達する案などを検討しているという。

ルノー、ソレルスの担当者は『RBC』紙に対し、協議の事実を認めた。ただ、自動車市場調査会社アフトスタットのツェリコフ氏は「両連合はともに低価格の小型車に強みを持ち、競合関係にある。ルノーとフィアットがこれまで他市場で協力した前例はない」と指摘し、協力関係の成立に懐疑的な見方を示した。

(RBC 2010年2月19日付)

独デュル、受注が回復

独産業設備機械大手のデュルが2月18日発表した2009年12月通期決算（速報値）の受注残高は10億200万ユーロで、1年前に比べ8%増加した。新規受注高は前年比19%減の11億8,500万ユーロに後退したものの、第4四半期（10～12）は前年同期から81%の増加に転じており、回復基調にあることがうかがえる。

営業利益（EBITベース）は前年比92%減の600

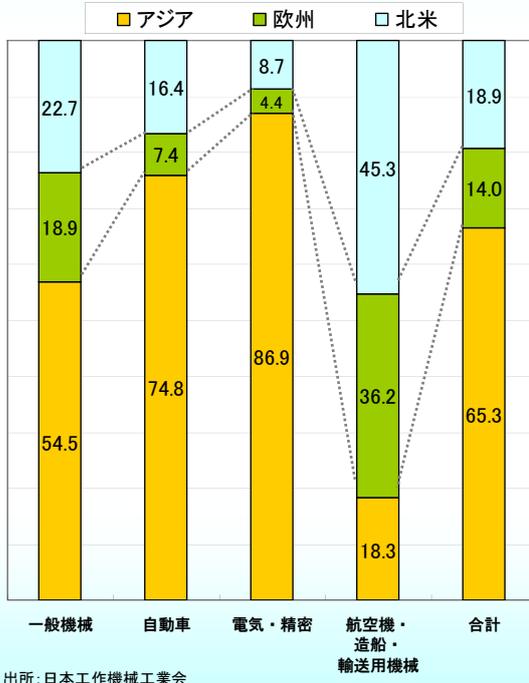
万ユーロ、最終損益は2,600万ユーロの赤字だった。売上高も同33%減の10億7,800万ユーロに落ち込んだ。

デュルによると、回復のけん引役は中国やブラジルなどの新興諸国。今年は新規受注で5～10%の増加が見込めることに加え、受注残の8割が年内納品のため、売上高でもプラスに転じる見通した。（Frankfurter Allgemeine Zeitung 2010年2月19日付）

5. 日工会外需状況(2月)

2月分の外需

主要業種別に見た主要3極の状況



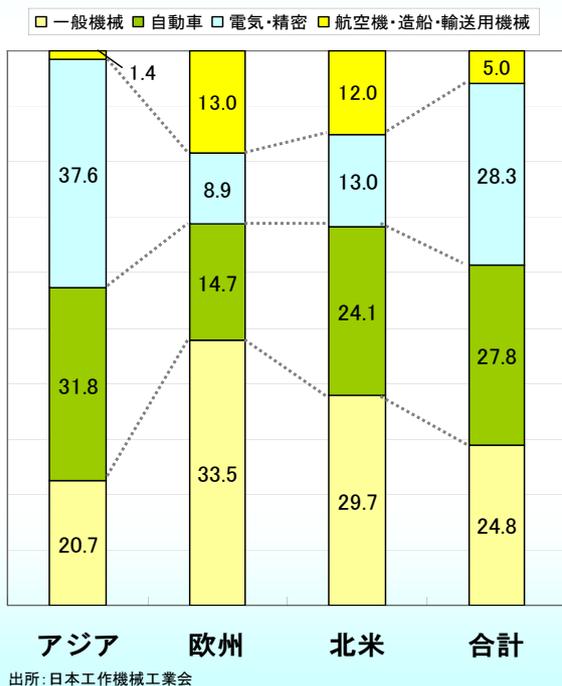
○自動車、電気・精密では、アジアの占める割合は7割を超えている。

○一方、航空機・造船・輸送用機械は欧州・北米で主として航空機分野を中心に受注が見られ、約8割のシェアを占めている。

○一般機械は、アジアが半分以上を占めている。

2月分の外需

主要3極別に見た主要業種の状況



○アジアでは、前月同様自動車、電気・精密が約8割を占めている。

一方、航空機・造船・輸送用機械は他業種に比べ、少ないウェイトとなっている。

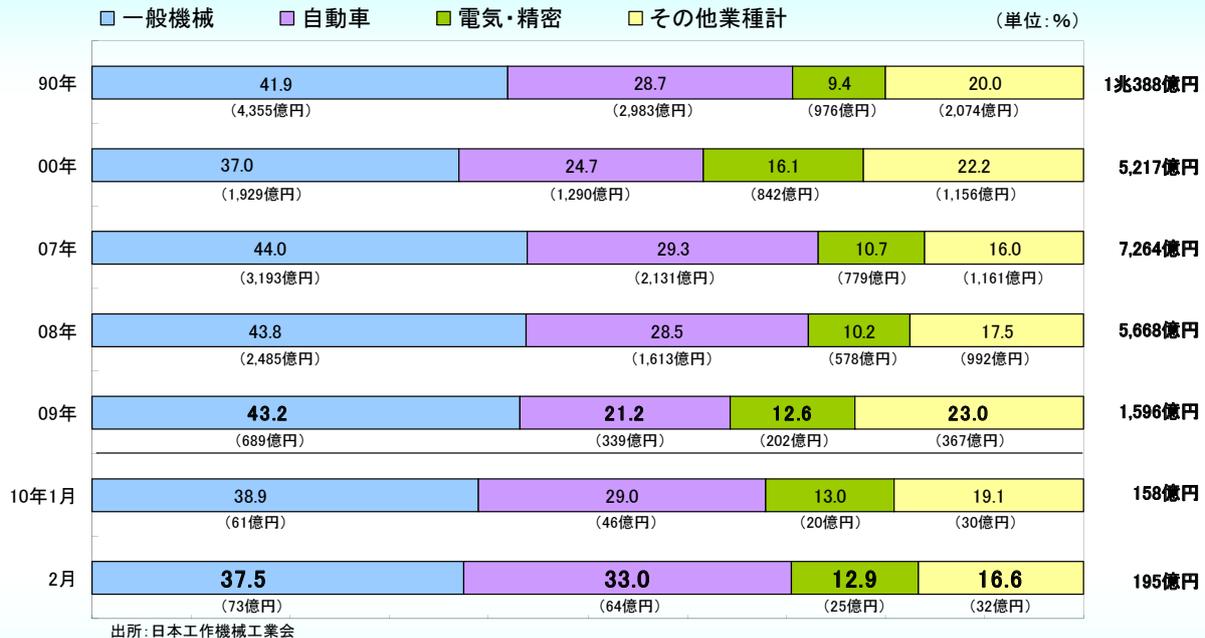
○欧州は、航空機・造船・輸送用機械の割合が多く、他方自動車、電気・精密の割合は低くなっている。

○北米は、他地域に比べ、業種的な偏りが比較的少ない。

ポーデンAMTDA専務理事コメント(1月分)

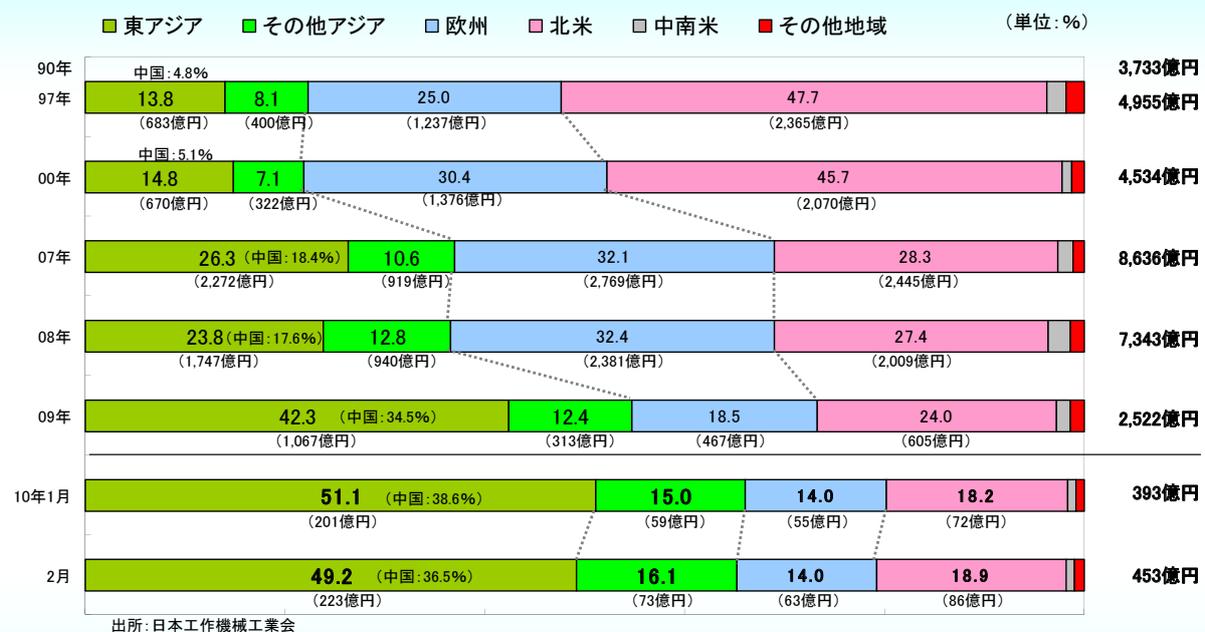
1月分の受注は、12月に減税措置期限による駆け込み需要があり、1月分受注の先食いがあったものの、前年同月比は+26%であった。さらに、設備投資促進のための政策が現在議会を通過しているところでもあり、期待したい。

受注内需 主要業種構成比の推移



2月は、1月に比べ一般機械が減少し(△1.4Pt)、電気・精密は横ばいで推移(△0.1Pt)した一方、自動車は増加を示した(+4.0Pt)。

受注外需 地域別構成比の推移



2月は、欧州が横ばい(±0Pt)で、アジアの減少分(△0.8Pt)が、北米の増加分(+0.7Pt)となっているが、変化の幅は小さく、基本的に1月の状況から大きな変化は見られていない。



「MTA ベトナム 2010（ホーチミン）」

第7回ベトナム工作機械展 日本ブース出品ご案内

MTA は、工作機械、金属加工機械、工業用精密測定機器および関連部品などを対象とする東南アジア最大級の総合工作機械見本市です。本見本市は、1980年よりシンガポールとマレーシアにて開催されていましたが、2005年より新たにベトナムでも開催されるようになり、今回は7回目のベトナムでの開催になります。

ジェトロでは、ベトナムをはじめ周辺国への販路開拓を目指す日系企業・団体を支援するため、MTA ベトナム（ホーチミン）出品のためのお得なパッケージを用意しました。ベトナムとのビジネス創出の足がかり、市場調査のためには絶好の機会です。是非この機会をお見逃しなく出品をご検討くださいますようお願いいたします。

【見本市概要】

- 会 期： 2010年7月6日(火)～9日(金) <4日間>
- 開催地： ベトナム・ホーチミン市
- 会 場： Saigon Exhibition & Convention Center (SECC)
- 対象出品物： 工作機械および周辺部品、加工機械、金型関連機器等
- 見本市 URL： <http://www.mtavietnam.com>

【ジャパンプース概要】

- 出品料： 1小間あたり 中小企業 250,000円、一般料金 380,000円
＜出品料に含まれるサービス＞
 - ・スペース (3m×3m=9㎡)
 - ・統一デザインによる小間の基本装飾
 - ・備品 (受付台1、椅子2、展示台2、スポットライト3、社名版1、单相コンセント1、カーペット、一定量の電気代及びその工事費含む) (予定)
 - ・出品者リストによる広報
 - ・日越通訳 (約2社で1名を共有)
- 申込締切： 2010年4月14日(水) 書類必着
- 詳細案内・申込書： <http://www.jetro.go.jp/events/MTA2010>
- 問合せ先： ジェトロ 海外見本市課 担当： 齊藤、宇田川
TEL： 03-3582-5183 / FAX： 03-3505-0450
E-mail： FAB3@jetro.go.jp

